

第10期介護保険事業計画策定に向けた 調査の実施について

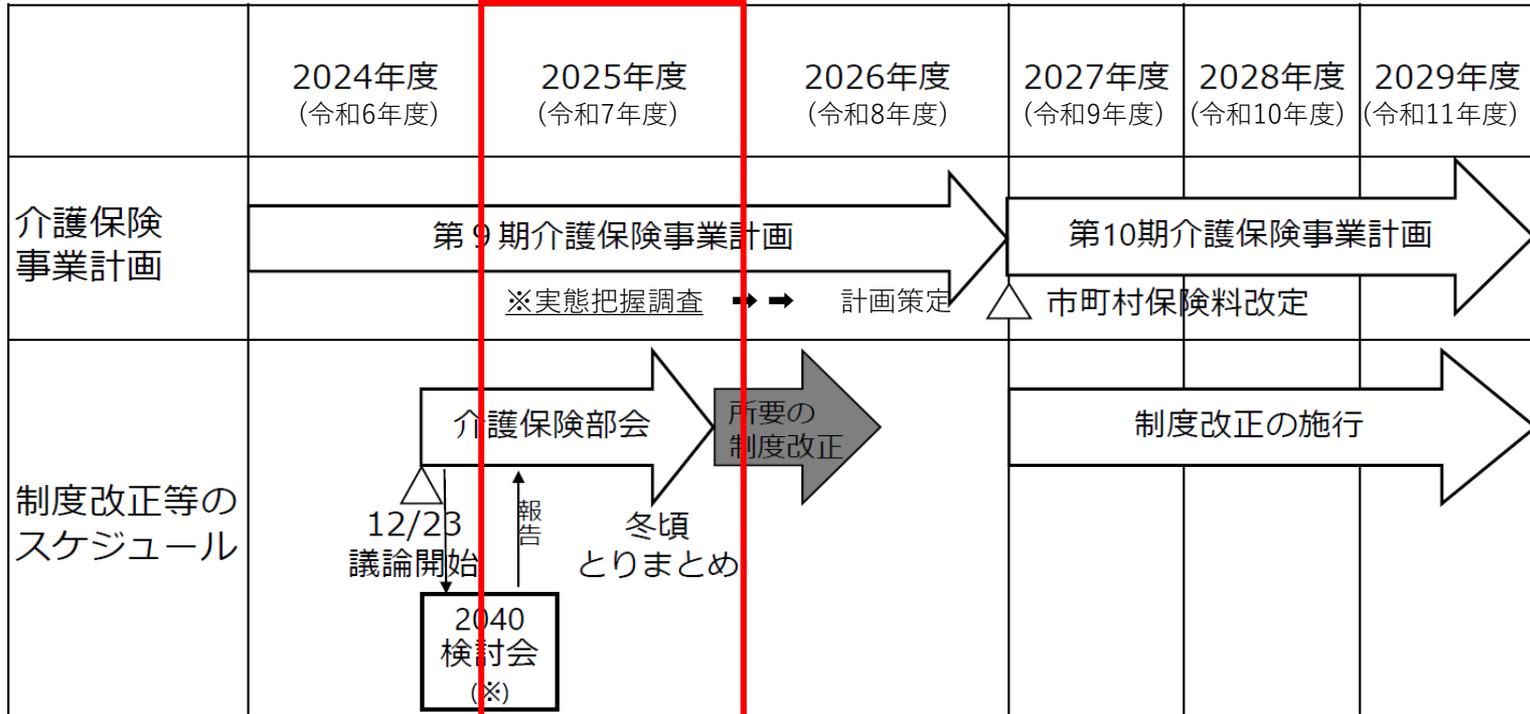
令和7年2月6日

富谷市保健福祉部
長寿福祉課

1. 第10期介護保険事業計画に向けた令和7（2027）年度 介護保険制度改正の流れ

今後のスケジュール（案）

- 介護保険制度は原則3年を1期とするサイクルで財政収支を見通し、事業の運営を行っている。
- したがって、この間に保険料の大きな増減が生じると、市町村の事業運営に大きな混乱が生じることから、制度改正を行う場合、2027年度からの第10期介護保険事業計画に反映させていくことを念頭に置いている。



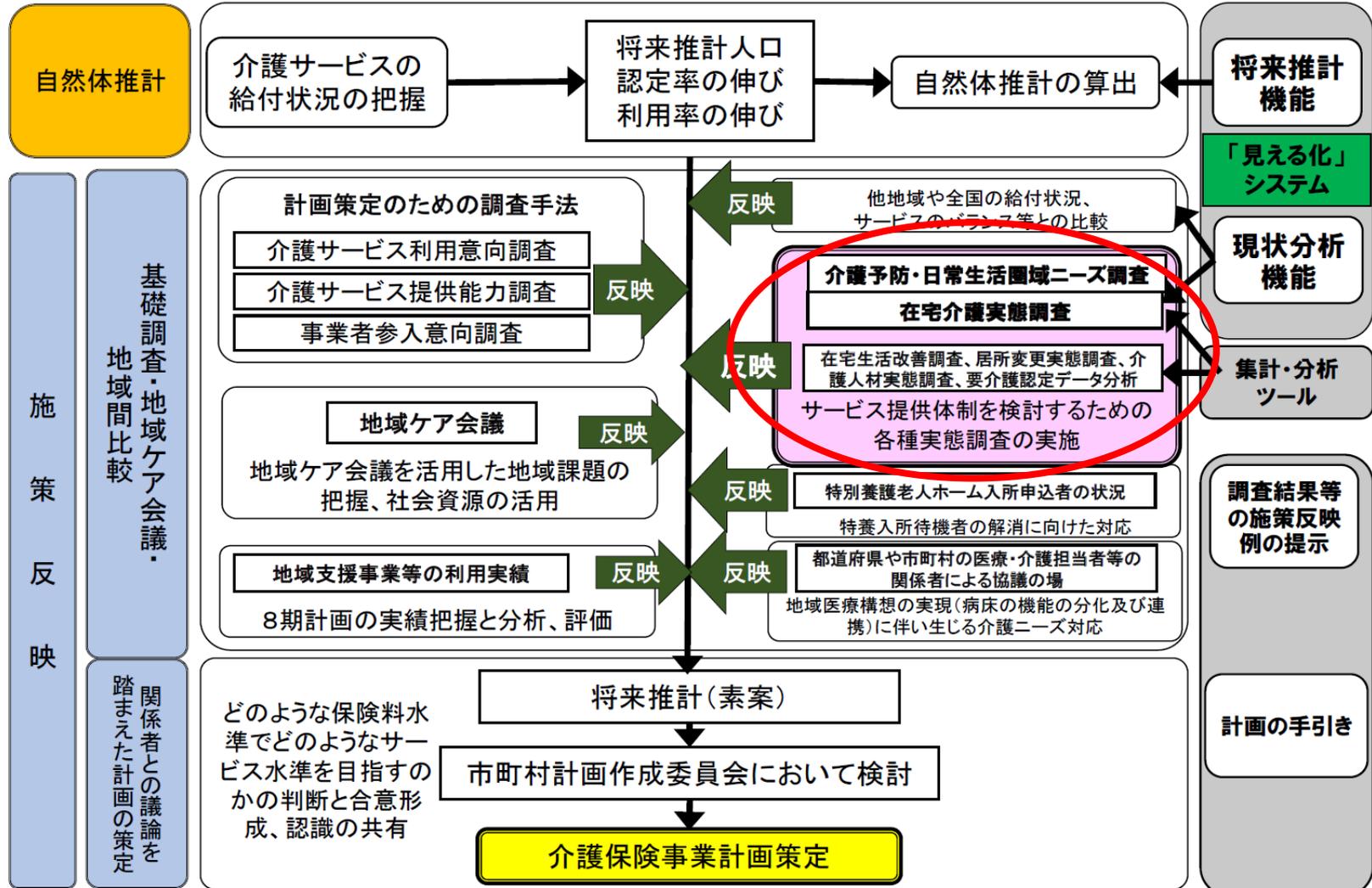
(注) 介護報酬改定については、社会保障審議会介護給付費分科会において議論。

(※) 「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会

資料：厚生労働省第116回社会保障審議会介護保険部会（令和6年12月23日）

1. 第10期介護保険事業計画に向けた令和7（2027）年度 介護保険制度改正の流れ

●第9期介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールイメージ



2. 「富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」 実態把握調査の概要について

●介護保険事業計画実態調査における根拠法令について

介護保険法第117条第5項（市町村介護保険事業計画）

市町村は、第2項第一号の規定により当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする。

介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針

（令和6年1月19日厚生労働省告示第18号）※一部抜粋

第二 市町村介護保険事業計画の作成に関する事項

一 市町村介護保険事業計画の作成に関する基本的事項

2 要介護者等地域の実態の把握

(三) 調査の実施

市町村は、被保険者のサービスの利用に関する意向等を把握するとともに、自らが定める区域ごとに被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情等、要介護者等の実態に関する調査（以下「各種調査等」という。）の実施に努めるものとする。なお、その際は、特に、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用することが重要である。

～略～

その際には、市町村介護保険事業計画作成委員会等の場において、幅広い関係者と十分に議論することが重要である。

2. 「富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」 実態把握調査の概要について

実態把握調査は、次期計画の策定に向けて、高齢者等の日常の生活実態や介護実態を把握し、課題整理や目指すべき地域包括ケアのあり方や、サービス基盤の方向性を検討するために実施予定。

令和8年度に予定している計画策定に向けて、将来設計の基礎資料を得る目的で実施するもの。

調査内容については、令和7年度に開催予定の「富谷市介護保険運営委員会」の中で協議検討を行う。

(全3回予定)

各種調査の実施は任意であり、その目的や活用方法を理解したうえで必要な調査事項の検討を進める。右記参照。

※太枠：富谷市での実施調査。
国の調査とは別に独自調査として、第2号被保険者（40歳～64歳）対象に調査を実施。

【各種アンケート調査等の例】

名称	対象	主な目的
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護1～5以外の高齢者	要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する。 介護予防・日常生活支援総合事業の評価等に活用する。
在宅介護実態調査	要支援・要介護認定を受けている在宅の高齢者	「要介護者の在宅生活の継続」と「介護者の就労継続」の2つの視点に基づき、介護保険サービスの利用実態との関係等を分析することで、在宅生活の継続や介護者の就労継続等に資する取組を検討する。 調査結果をもとにした関係者間での議論を通じて、具体的な取組を検討する。
在宅生活改善調査	居宅介護支援事業所、小多機、看多機(ケアマネジャー)	「(自宅等にお住まいの方)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を把握する。 調査結果をもとにしたケアマネジャー等との議論を通じて、具体的な取組を検討する。
居所変更実態調査	介護施設等(サ高住・住宅型有料含む)	過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を把握する。 調査結果をもとに各施設等との議論を通じて、具体的な取組を検討する。
介護人材実態調査	介護事業所、介護施設等(サ高住・住宅型有料含む)	介護人材の実態を個票で把握することにより、性別・年齢別・資格の有無別などの詳細な実態を把握する。 事業所等との議論を通じて、具体的な取組を検討する。

2. 「富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」 実態把握調査の概要について

● 「高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」調査予定

調査の種類	目的	内容（第9期実数）
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳以上で要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する。 ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する。 ・ 日常生活圏域※単位での生活機能評価の分析を行う。 	必須項目（35問） オプション項目（8問） 市独自項目（35問）
②在宅介護実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅介護を行っている家族及び介護保険認定者を対象に、地域包括ケアシステムの構築という観点に加え、高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。 	必須項目（15問） オプション項目（6問） 市独自項目（27問）
③第2号被保険者対象ニーズ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40～64歳の第2号被保険者を対象に、現在の生活状況を把握し、今後の介護サービスや高齢者保健福祉事業の方向性を探る。 	市独自項目（33問） ※前期調査項目を踏襲
④介護人材実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内に有する介護保険事業所を対象に、介護人材の確保における課題等を把握し、介護保険事業計画における施策の方針を検討する基礎資料とする。 	市独自項目（12問）

※日常生活圏域の設定

日常生活圏域名	地区名
①富谷中央・あけの平圏域	富谷、太子堂、ひより台、グリーンヒル（一ノ関の一部）、とちの木、あけの平、その他（上記、下記圏域以外の地区）
②富ヶ丘・日吉台圏域	富ヶ丘、鷹乃杜、日吉台、杜乃橋
③東向陽台・成田圏域	東向陽台、明石台、成田、大清水、上桜木、明石の一部

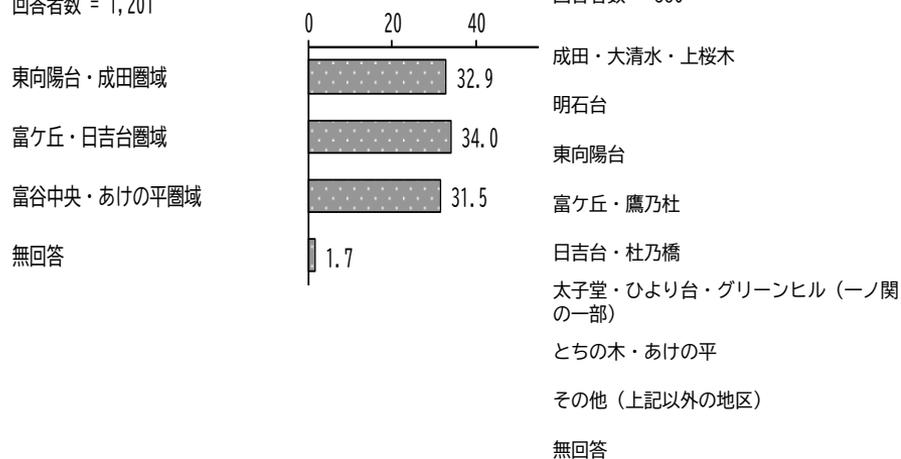
2. 「富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」 実態把握調査の概要について

● 「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」実態把握調査結果について

調査種別	①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	②在宅介護実態調査			③第2号被保険者対象ニーズ調査	④介護人材実態調査
		在宅認定者	サービス利用・未利用者	介護者		
調査対象	①第1号被保険者(要介護未該当65歳以上)②総合事業対象者	要支援・要介護と認定された在宅高齢者	※該当項目のみ記入	左記認定者を介護している者	第2号被保険者(40歳～64歳)	介護保険事業所 ※複数サービス指定は指定数でカウント
	抽出	抽出			抽出	全件
調査対象者数	9,943人	1,157人			18,816人	61事業所
送付件数	1,500件	500件			800件	61事業所
有効回答数	1,201件(80.1%)	380件(76.0%)			504件(63.0%)	42事業所(68.9%)
調査方法	郵送配布・回収					メール・web

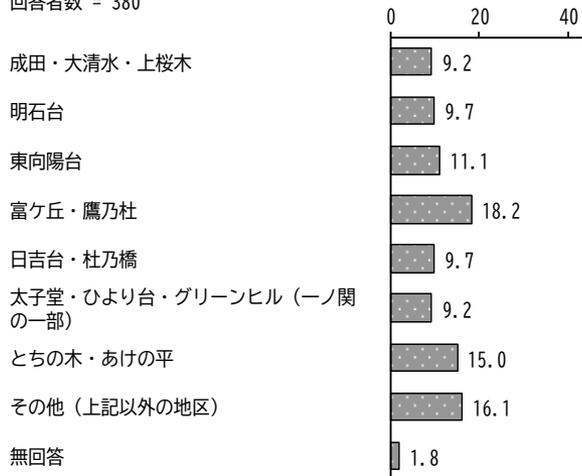
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者数 = 1,201



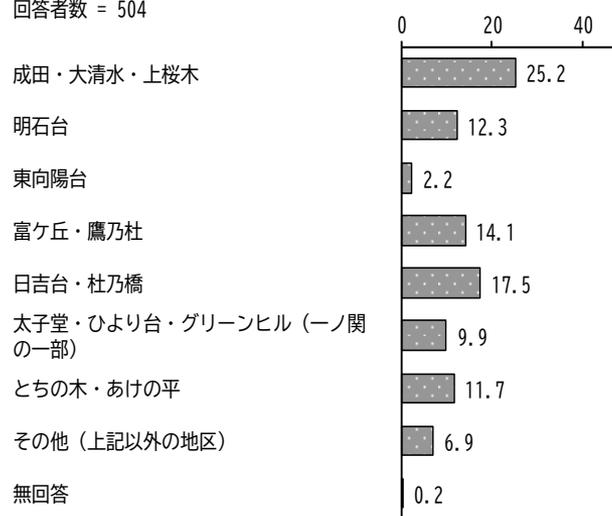
②在宅介護実態調査

回答者数 = 380



③第2号被保険者対象ニーズ調査

回答者数 = 504



2. 「富谷市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」 実態把握調査の概要について

● 「住民アンケート実態調査」結果の推移について

期別	調査時期	①65歳以上高齢者			②在宅介護			③第2号被保険者		
		対象者数	有効回答	回収率	対象者数	有効回答	回収率	対象者数	有効回答	回収率
第1期 (H12～H14)	H10.8	2,723	2,313	84.9%	166	164	98.8%	-	-	-
第2期 (H15～H17)	H13.8	-	-	-	316	316	100.0%	-	-	-
第3期 (H18～H20)	H17.5	1,000	677	67.7%	482	414	85.9%	-	-	-
第4期 (H21～H23)	H20.6	1,000	813	81.3%	572	501	87.6%	-	-	-
第5期 (H24～H26)	H22.12	5,413	4,734	87.5%	669	524	78.3%	-	-	-
第6期 (H27～H29)	H25.11	6,744	4,984	73.9%	839	608	72.5%	996	577	57.9%
第7期 (H30～R2)	H29.1	2,999	2,254	75.2%	1,039	677	65.2%	999	531	53.2%
第8期 (R3～R5)	R2.1	1,500	1,121	74.7%	500	349	69.8%	800	381	47.6%
第9期 (R6～R8)	R5.1	1,500	1,201	80.1%	500	380	76.0%	800	504	63.0%

● 「事業所等アンケート実態調査」結果の推移について

期別	調査時期	対象	対象者数	有効回答	回答率
第1期 (H12～H14)			-	-	-
第2期 (H15～H17)			-	-	-
第3期 (H18～H20)			-	-	-
第4期 (H21～H23)	H20.9	シルバー人材センター	410	269	65.6%
		老人クラブリーダー	130	126	96.9%
第5期 (H24～H26)			-	-	-
第6期 (H27～H29)	H26.2	介護施設関係者	25	25	100.0%
第7期 (H30～R2)	H29.2	介護保険管理者・従業員	400	166	41.5%
第8期 (R3～R5)	R2.1		-	-	-
第9期 (R6～R8)	R5.1	介護保険事業所	61	42	68.9%
	R5.12	入所系介護施設	11	11	100.0%